

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月27日

事業所名 児童発達支援センターわかば園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	3	・活動を行う十分なスペースは確保しています。	・さらにスペースが確保できるように、折り畳み式のテーブルの導入も考えていきたい。
	2 職員の配置数は適切である	12	0	・配置基準を守って配置しています。	・子どもや活動の状況によっては日々、職員配置を増やすようにしていきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	3	・クラス内で園児の状況に合わせた構造化された環境にするようにしている。	・子どもの状況により、今後も対応していき、職員での勉強会もすすめていきたいと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	3	・活動内容によって、広いスペースに移動して活動しています。	・清潔を保つように努力していますが、床面等、老朽化によりささくれが多かったりするので、事前での対応に力を入れたい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	6	・完全にはできていないと思います。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	3	・業務改善に向けての評価と意識し、繋げるよう努力しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0	・毎年の事業所評価、保護者評価をホームページで公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	12	・第三者による外部評価は行っていません。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	・コロナ禍ではあったが、できる限りのズーム研修には参加しました。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0	・保護者との面談での話し合いにより、ニーズに合った計画書作成を心掛けています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	3	・アセスメントツールの使用はできていません。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	0	・それぞれの子どもたちにあった支援内容で設定できていると思う。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0	・支援計画書に沿った支援を心掛けています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0	・クラス内で話し合う時間を設けて立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	・固定化しないようにしています。	・季節に応じた活動も取り入れるようにしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12	0	・主に午前中は集団活動、午後に個別活動の時間を設けるようにしています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	3	・心掛けてはいますが、毎回はできていないと思います。	・できる限り打ち合わせの時間を設けるようにしています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	3	・必ずはできていませんが、気づいたことは話し合い、共有できるようにしています。	・それぞれが意識しながら振り返りができるようにしています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	・記録を取り、次につなげられるようにしています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	0	・半年に一回面談を行い見直しています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	・児童発達支援管理責任者と担任が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	3	・相談支援専門員や他の連携機関とは連携できています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	・移行がある場合には、十分に連携を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	・引継ぎシートを作成し、実際に園へ来ていただいたり十分な連携を図るようにしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	12	・コロナ禍もあり、そのような機会を持つことができませんでした。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	12	・同法人内での保育園との交流会はしていましたが、コロナ禍でできませんでした。	・コロナの状況次第で再開できればと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	0	・宮崎市自立支援協議会子ども部会に参加しています	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	・連絡帳や、それで足りない場合は電話や個別に面談を設けて情報交換できるようにしています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	6	6	・家族支援プログラムとしてはできていません。	・コロナの状況を見ながら、定期的な勉強会ができればと考えています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	・契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0	・支援計画書を示しての説明は行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	・相談がある度に実施しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	0	・保護者会との連携はできていますが、コロナ禍により保護者会活動は実施できていない状況です。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	・担任や児童発達支援管理責任者と対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	・一月ごとに園だよりや広報誌を作成し、情報発信に努めています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	0	・契約時に同意書をいただき、十分注意しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	・カードや視覚支援を取り入れ、意思の疎通に努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	12	・コロナ禍で実施できていません。	・コロナの状況次第で再開できればと思っています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	0	一月ごとに想定を変更して実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12	0	・入園時の細かい聞き取りや、内科健診時に毎回確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	・医師の指示所に基づいて対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	・ヒヤリハットがあった時には記入し、全員に周知し、共有しています。	・常に意識していきたいと思う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	0	・研修に必ず参加し、研修参加者が主になり職場内研修も実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	12	・このようなことがないので、計画書への記載はしていません。	